

みずほCustomer Desk Report 2022/10/26 号 (As of 2022/10/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	149.07 AUD/USD
TKY 9:00AM	148.87	0.9885	147.15	1.1311	0.6328
SYD-NY High	149.10	0.9977	147.45	1.1500	0.6412
SYD-NY Low	147.52	0.9848	146.63	1.1273	0.6304
NY 5:00 PM	147.96	0.9970	147.44	1.1472	0.6394

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,836.74	337.12	日本2年債	▲0.0200%	▲0.0200%
NASDAQ	11,199.12	92.89	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,859.11	61.77	米国2年債	4.4717%	▲0.0362%
日経平均	27,250.28	275.38	米国5年債	4.2575%	▲0.1070%
TOPIX	1,907.14	19.95	米国10年債	4.0979%	▲0.1477%
シカゴ日経先物	27,560.00	415.00	独10年債	2.1675%	▲0.1750%
ロンドンFT	7,013.48	▲ 0.51	英10年債	3.6335%	▲0.1080%
DAX	13,052.96	121.51	豪10年債	4.1110%	▲0.0520%
ハンセン指数	15,165.59	▲ 15.10	USDJPY 1M Vol	13.70%	▲0.83%
上海総合	2,976.28	▲ 1.27	USDJPY 3M Vol	12.82%	▲0.67%
NY金	1,658.00	3.90	USDJPY 6M Vol	12.25%	▲0.58%
WTI	85.32	0.74	USDJPY 1M 25RR	▲1.82%	Yen Call Over
CRB指数	273.99	2.17	EURJPY 3M Vol	12.89%	▲0.79%
ドルインデックス	110.95	▲ 1.04	EURJPY 6M Vol	12.86%	▲0.61%

東京	東京時間のドル円は148.87レベルでオープン。24日の米10月製造業PMI、サービス業PMIの市場予想対比劣化した結果を受け、米利上げペース減速への思惑が強まる展開にドル売りも強まり、オープン直後にドル円は148.50まで下落するも、仲値にかけては実需のドル買いにサポートされ、149.06まで持ち直した。その後は売り買い交錯する展開に、ドル円は狭いレンジで推移し、148.88レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は148.88レベルでオープンし、こう着状態が進んだ。金利先物市場では、12月予定のFOMC会合による利上げ幅が50bpと75bpの間で織り込まれており、金利差の先行きについて迷いがあるのが現状。為替介入に対する警戒心も引き続き強い模様で、ドル円の値幅は限定的となり、148.90レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で介入警戒から狭いレンジでの推移が続いたドル円は、148.90レベルでNYオープン。朝方は介入警戒から148.63まで下落後再び148.90まで戻すが、9時に発表された住宅関連指標が予想以上に悪化したことや、株式市場が軟調に寄り付く展開や、米金利が低下する動きにドル売りが優勢となり、10時に発表の米10月消費者信頼感指数が現況、期待共に前回から低下したことから予想を下回り、147.53まで下落する。その後一旦148.16まで戻すが、戻り売りに147.52まで下落する。午後は148円ちょうどを挟んでの方向感のない推移が続き、147.96レベルでクローズした。一方、上値の重いユーロドルは、独10月IFOが予想を上回ったことから下値はサポートされ、0.9867レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けたドル売りに0.9976まで戻す。パリテに近づくと利益確定売り意欲は強く0.9935まで反落するが、その後も米金利低下を受けたドル売りに0.9977まで戻す。午後は0.9960付近での推移が続き、0.9970レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・大橋

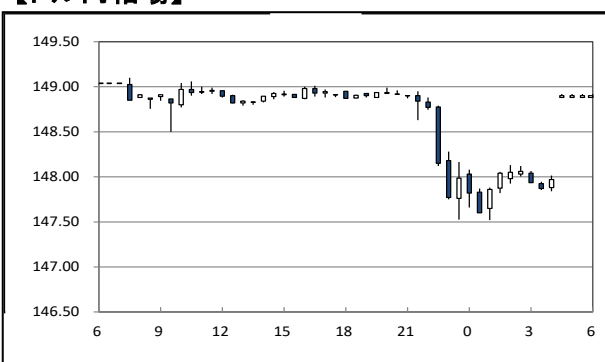
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	10月 84.3	83.5
	17:00	独 IFO(現況指数/期待指数)	10月 94.1/75.6	92.5/75
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	10月 102.5	105.9

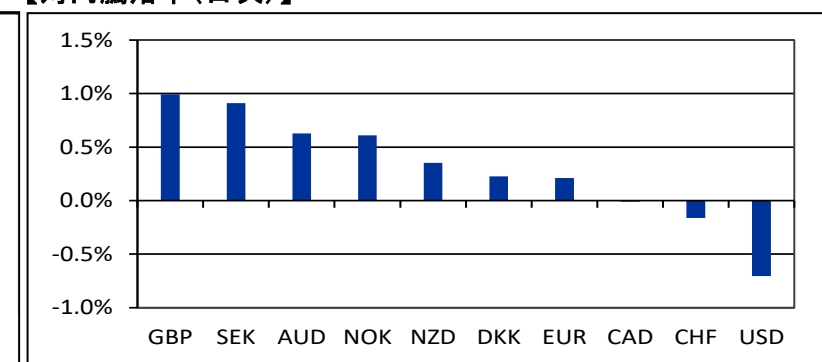
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月26日	09:30	豪 CPI(前期比/前年比)	3Q 1.6%/7.0%	1.8%/6.1%
	09:30	豪 CPIトリム平均値(前期比/前年比)	3Q 1.5%/5.5%	1.5%/4.9%
	14:00	日 景気一致指数・確報	8月 -	101.7
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	9月 1.0%	1.3%
	23:00	米 新築住宅販売件数	9月 580k	685k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.50-149.00	0.9900-1.0000	146.50-149.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米長期金利の低下とともにやや円高が進行した。東京時間は、オープン直後に148.50をつけるも、その後は149円手前付近で推移を続けた。海外時間ではFHFA住宅価格指数やコンファレンスボード消費者信頼感が市場予想を下回ったことで、米長期金利が一時4.05%台まで低下し、ドル円は147円半ばまで急落した。その後やや水準を戻し、147円後半でクローズした。本日のドル円は、落ち着いた値動きとなる展開を予想。本日は豪CPIやBOCが控えているものの、ある程度、市場の織り込みが進んでいることもあり、サプライズとはならなさそうだ。引き続き、円安進行時には日銀からの為替介入の警戒感が出てくることに加え、今週末にかけてECBやBOJ、来月初めにFOMCを控えていることを踏まると、本日も様子見色が強い値動きになりそうだ。